

空き家見守り隊『ほったらかしにしないで！ 私たちの大切な京町家』

NPO法人 古家改修ネットワーク

理事長 荒木 勇さん



荒木 勇さん

平成23年度 採択事業

町家のある町並みを残したい

NPO法人として設立した当初は、建物をターゲットとしたリフォーム詐欺被害が多く、正しい方法で家を直すどころか、余計家の寿命を縮めたり、修理費用がかかったり、という問題が後を絶ちませんでした。「もっともとお住まいを長持ちさせる事が出来たのに…」という悔しい思いを断ち切るため、設計、大工、塗装、左官、水道などの様々な建築関係者が集まり、気軽に相談できる窓口を設置したのが始まり。お住まいされている方に寄り添い、古い家でも手入れさえすれば長く使えることを伝えていきたい、お子さんやお孫さんの代まで快適に暮らせる住まいを提供していきたい、そうすることで、資源を大切にす気持ちや京町家のある町並みを後世に残していきたい、と職人ならではの知恵と技術を発信しています。過去には、一般市民を対象とした改修実践講座を定期的で開催し、各回とも定員を上回るほどの大好評を頂いていたそうです。しかし、講座を開催するための運営が予想以上に大変で長続きせず。



瓦教室の様子（正しい改修知識で消費者を守るため、改修実践講座を実施していた）

「やはり町家を一軒でも残していかなければ。そのためには、所有されている方、お住まいされている方との信頼関係が大切なんです。」と、理事長の荒木勇さん。「空き家見守り隊」は、そんな思いからスタートした新しい取組です。



NPOメンバーによる見学会（出雲大社にて）

環境対策

空き家に着目した新しいサービス

ファンドで採択された事業、「空き家見守り隊」は、通常は空き家となってしまっている家を、定期的に見回りや手入れをしてくれるサービスです。空き家は、放置されていただけではカビの発生や木部の腐食などが進み、いずれは廃墟になりかねません。だからと言って、他人が自分の家に入ることによる多少の抵抗を覚えるのが普通。このサービスは、年4回建物外部からのチェックを行う「おためしコース」、鍵をお預かりして室内の点検も行う「基本コース」、台風・大雨後のチェック、雑草・糞の撤去などの追加オプションなど、段階を設けているため、契約者の状況に応じてサービス内容をお選びいただけます。



「空き家見守り隊」町家見回り中（建物外部からのチェック）

実際、京都中心部に残る京町家のうち空き家が全体の約1割を超え、手入れがされずにやむを得ず解体される町家も年間300軒近くあるとのこと*。京都新聞などに取り組みが掲載されたことがきっかけで、現在約20軒と契約しているそうです。その半数以上が、家を所有しているけれども遠方にお住まいの方、お墓が京都にあるので年に数回だけ訪れる方など、京都市外の方。今後このサービスを効果的に活用していただくためには、京都



「空き家見守り隊」町家手入れ中（内部の掃除）

市外の方々への広報が課題だと考えています。

長く住むために

日本では、建てられてからまだ20～30年しか経っていないのに、どんどん家が潰され、建替えられています。京町家や古家を改修して長く住み続けることは、建売住宅との価格競争や固定資産税の負担など、所有者さんが背負われる問題も多くあります。しかし、荒木さんは「生まれ育った家への想い、古いものが持つ本来の良さなども含めて、ちゃんと残していきたい。そうすることで建築技術の継承も叶うのですから」と言われます。信頼して頂けた方々からの家の見守り。住まいに関わるメンバーだから実現できる、高い技術と丁寧で愛情にあふれたサービスは、京都らしい町並みを残すだけでなく、住まいについて忘れていた日本人の価値観を呼び起こすものでもあるのです。

*：平成21(2009)年度京町家まちづくり調査より



「NPO古家改修ネットワーク」「空き家見守り隊」パンフレット

事業概要

NPO法人 古家改修ネットワーク
<http://www.kyoto.zaq.ne.jp/reform/>
 代表：荒木 勇
 業種：NPO法人（住宅メンテナンス業）
 創業：平成18(2006)年 設立：平成18(2006)年
 住所：〒615-0906 京都市右京区梅津高畝町52-2
 TEL：075-882-8721 FAX：075-872-0223